

(別紙4(2))

事業所名 まさにグループホーム

目標達成計画

作成日: 令和2年2月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(5)	「身体拘束のしないケア」について委員会名がきまっているので、記録用紙の表名は指針に記載される名を使う。	「身体拘束廃止委員会」という指針名に記入された名称で書類を作成すること。	・指針に沿った名称で統一していくように、記録用紙の変更をする。 ・記録用紙に構成員を記載しておく	1ヶ月
2	(13)	「災害対策」において日中の避難訓練の実施はあるが「夜間の訓練」がないので、実施計画をした方が良い。	「夜間の訓練」について棟会議で話しあい、実施計画を作成する。	・「夜間の避難訓練」のやり方の検討 ・報告・連絡先・等確認をする。 ・協力体制の作成をする。	3ヶ月
3	(14)	「食事ケア」「排泄ケア」等、ケアの基本やその人の介護方法について、新人職員への指導の見直しをする。	食事、排泄ケアの基本を再度確認する。(新人職員対象)	令和2年2月より確認に入る。 ①ケアの確認項目をチェックする ②気づいた時に教えあうようにする。	1ヶ月～3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。